

『Mind Charging』

第 203 回 発行：入試広報室 発行日：令和 3 年 2 月 2 日

ジョージ・パットンの名言



Success is how high you bounce when you hit bottom.

成功とは、どん底から高く跳ね上がること。

この言葉は成功した瞬間の達成感を表しているような気がします。そして、どん底から一気にということですから成功のきっかけは意外なところにあるという“成功のヒント”や、『実は難しいことだと思いきや挑戦を躊躇してしまい、全力を出し切ることができなかつたために失敗という結果が出ただけである。まずは強い気持ちでなりふり構わず全力で挑戦してみよう！』という励ましのメッセージなのかもしれないと感じました。

それぞれが、それぞれの目標に向かって日々努力を重ねています。同じ目標に向かってる人もいますし、先に目標に到達しなければならぬ場合はライバルとなります。スポーツで例えるのがわかりやすいですが、試合に勝った人の相手は負けた人ということになります。そういう意味でも試合の相手に対するリスペクトは絶対に必要であり、それを表現する一番の方法は全力で挑むことにあります。そして、それは挑戦することを決めた自分自身に対しても、そんな自分の覚悟と努力を“成功という最高の形”で締めくくることができ、『やりきった！』という自分の大きな経験や自信になります。

自信とは自分を信じると書きます。時々『どうしたら自信がつかますか？』という質問を受けることがありますが、自信をつける一番の近道は自分を裏切らないことだと思います。なぜなら、失敗した時や負けた時に本気で努力せず妥協した時の自分に大きな後悔を感じるからです。そういう意味では、自信のつけ方とは自分との約束をどれだけ守ることができるのかということになります。自分を裏切らない人は、きっと仲間を裏切ることもありません。また、その反対に仲間を裏切らない人は自分のことも裏切らないと思います。自分のことはつつい妥協してしまいがちです。そんな時に『仲間のためにもここは踏ん張ろう！』と思えるような素晴らしい仲間を正智深谷高校で作らしましょう！（編集委員：入試広報室 鈴木）

ジョージ・スミス・パットン・ジュニア(George Smith Patton Jr., 1885年11月11日 - 1945年12月21日)は、アメリカの陸軍軍人。モットーは「大胆不敵であれ！(Be audacious!)」。(Wikipedia 参照)